

「わたしの名を呼び求めているわたしの民が
みずからへりくだり、祈りをささげ、
わたしの顔を慕い求め、
その悪い道から立ち返るなら、
私が親しく天から聞いて、
彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。」

(第二歴代誌7章14節)

トランスフォーメーション(変革の時代)の為の視点の転換、
教会の奥義と実践

「日本の変革のために」有賀喜一師

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2009.11-12月号 No.135

■トランスフォーメーション（変革の時代）の為の視点の転換、教会の奥義と実践

「日本の変革の為に」

全日本リバイバルミッション代表・
リバイバル聖書神学校校長

有賀喜一師



1. 日本への預言

「わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、私が親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。」（第二歴代誌 7 章 14）

「望みを持つ捕らわれ人よ。とりでに帰れ。わたしは、きょうもまた告げ知らせる。わたしは二倍のものをあなたに返すと。わたしはユダを曲げてわたしの弓とし、これにエフラムをつがえたのだ。シオンよ。わたしはあなたの子らを奮い立たせる。ヤワンはあなたの子らを攻めるが、わたしはあなたを勇士の剣のようにする。主は彼らの上に現われ、その矢はいはずまのように放たれる。」

（ゼカリヤ書 9 章 12 節～14 節）

「これは、ゼルバベルへの主のことばだ。『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。』と万軍の主は仰せられる。」（ゼカリヤ書 4 章 6 節）

「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

（ヨシュア記 1 章 9 節）

これらのみことばは、以前、アルゼンチンで開催された「第 2 回 収穫伝道国際研修会」での「カルロス・アナコンディア師」「シンディ・ジェイコブ師」「ピーター・ワグナー師」の各師をおして日本の将来を預言的に祝福して言われたものです。それは日本の罪の悔い改めと和解、更に神ご自身の赦しと励ましと、やがて日本は変革され、かつての悪の戦士だった日本が、義の戦士となり（日本の地図を逆さにしてみると、まさに「勇士の剣」のように見える。）神の国の建て上げの為に日本は必ず用いられると確信づけるものでした。

そしてその時はすべてが神の主権のもとで、リバイバル、変革、時、方法、場所など、まさに聖霊によって成就していくことを保証するものでした。エペソ書 1 章 17 節～19 節においてのパウロの祈りの中心は、「心の目がはっきり見えるように」なることです。ここにトランスフォーメーション（変革）の第一段階があります。

2. 視点の転換（ヨシュアビジョン）

教会がこの 2000 年の期間を経て、神は全世界のキリスト教会を整え、そのすべての霊的遺産を尊重し、そしてそれを駆使して、全キリスト教会を聖書的一致へと導き、福音のすべて（即ち、救い、いやし、解放、奇蹟、きよめ、聖霊のバプテスマと充満）をみことばに伴うしるしとして提供して、未だ福音化されていないあらゆる国民、部族、民族、国語の人々を、私たちの主イエス・キリストに属するものとするのです。

これらのことにより 21 世紀にまさに変革への整備ができあがりました。そしてその変革の第一歩は「神の視点で見直す」ことです。これを私は「ヨシュアビジョン」と呼びます。

(1) 主の命令～ ヨシュア記 1 章 2 節～3 節

(2) 主の勝利～ ヨシュア記 1 章 4 節～6 節

(3) 主の条件～ ヨシュア記 1 章 7 節～8 節

(4) 主の約束～ ヨシュア記 1 章 9 節

最初に神の視点で見直すことは、1971～72 年、私がアメリカ、フラー神学大学院、世界宣教と教会成長学部留学した時、初めて「マッギヤバラン博士」をおして植え付けられたものでした。当時、第三世界では、キリスト教人口が、アフリカで何と平均 65 パーセント、インドのナガランドでも 90 パーセントと報告され、真の神の主権的勝利が崇められていました。故に日本の敗北主義、悲観主義は、全く打ち負かされました！神は今生きておられ、力強く働いておられることを実感しました。

さらに神の視点で見直すことは、以前、ラテン・アメリカの 6 ヶ国を歴訪した時、当時「深みの伝道」と称して、先ずクリスチャンひとりひとりを主の生きた証人として整え、更にそれらが社会のすべての階層に浸透し、その結果、多くの魂を救いへと導き、それらが生きた共同体である教会に加えられ、やがては健康な教会成長を遂げていく、そんな状況を見て、聞いて、確かめて、公平な神は、必ず日本にも同じこと、いや、それ以上の事をなし遂げられると強く信じたのでした。

そして、3 つ目の神の視点で見直すことは、1972 年 4 月から 40 日間、アフリカのケニアの首都ナイロビから 250 マイル、ジャングルに入ったある研修所で、アフリカ全土から 96 人の代表たちとともに、「福音の伝達と教会成長」の学びがあり、参加が許されて直接アフリカで教会のリバイバル、しかも継続しているリバイバルの実態に触れました。その時、私が感じたことは、あまりの貧しさのゆえに子供が病気になっても町の病院にも連れて行けない現実の中で、神に必死に祈り求める姿、そしてその必死な祈りに、不思議と偉大な奇蹟をもって応えておられる、神の業の生きた証しを見聞きし、福音が人々の必要を事実満たしているというすばらしさを見たのでした。

しかし、何よりも、神の視点で見直すことは、聖書そのものでなされなければなりません。私自身、長年のエペソ人への手紙の研究から「キリストと主の教会」の奥義と実践を通して目が開かれてきました。

3. 教会の奥義と実践

（エペソ書からみる神の視点）

エペソ書 1 章には、奥義である教会の起源があり、三位一体の神ご自身こそが、ご自身の教会を建て上げられる源泉であることが明白に記されています。すなわち、父なる神は、私たちを選び（4 節）、あらかじめ定め（5 節）、恵みを与えてくださった（6 節）のです。子なる神、キリストは、罪の赦しを受けさせ、キリスト・イエスにあって一つに集めさせ（10 節）、彼にあって御国を受け継ぐ者と定められたのです。（11 節）そして、聖霊なる神は、救いの福音を聞かせ（13 節）、福音を信じさせ（13 節）、約束の聖霊をもって証印を押して、救いの確信にまで導かれるのです。このような三位の神のお働きを、聖霊によって開眼される時、神の召しの望み（エペソ書 1 章 18）、栄光の嗣業（18 節）、信じる者に働く神の絶対的な力（19 節）が体得させられるのです。

エペソ書 2 章では、奥義である教会の素材として、かつては、罪過と罪との中に死んでいた者（2 章 1 節）、この世、

サタン、そして肉の欲の奴隷（2 章 2～3 節）であった者、最後に、生まれながら御怒りを受けるべき、亡びの子（2 章 3 節）であった者たちが、「引き上げる救い」（2 章 4 節～6 節）、「近づける救い」（2 章 12 節、13 節）、一つにする救い（2 章 19 節～22 節）を受け、神の家族、神の住まいとなるのです。

エペソ書 3 章では、奥義である教会の務めが明記され、「万物を創造された神の中に世々隠されていた奥義を実行に移す務めが何であるかを明らかにするためにほかなりません」（3 章 9 節）と明白にされ、恵みによる、啓示によって、恵みの賜物によって、一番小さな者に与えられたものであるとの使命感に立っているのです。

この教会の奥義の実践のために、パウロはエペソ人への手紙の中で第二の祈りささげます。これを私は、「実践の祈り」と呼んでいます。「どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように」（エペソ書 3 章 16 節）と。内なる人は、キリストの内住（17 節）、愛の広さ、長さ、高さ、深さの共有（18 節）、そして、神ご自身で満たされる（19 節）ことで完全に整えられるのです。

パウロはエペソ書 1 章から 3 章までに教会の奥義として、その起源、素材、そして務めを詳しく述べ、4 章から 6 章まで、教会の実践として、(1) 軍としての歩み（4 章 1 節～16 節）、(2) 個人としての歩み（17 節～5 章 21 節）(3) 家庭人としての歩み（5 章 22 節～6 章 4 節）、(4) 社会人としての歩み（5 節～9 節）を進め、そのために「御霊に満たされなさい」（エペソ書 5 章 18 節）と命じているのです。そして、「愛の歩み」（5 章 2 節）、「光の歩み」（5 章 8 節）「賢い歩み」（5 章 15 節）が全うできるのです。

パウロは、このようにして、教会の奥義と教会の実践を明白にした後で、霊的戦いを勧めています。そして、教会の勝利は決定的となるのです！「悪魔の策略に対して、立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身につけなさい。わたしたちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」（エペソ書 6 章 11 節、12 節）これらは、「主にあってその大能の力によって強められ」（6 章 10 節）て初めて実現できるものです。

このエペソ人への手紙、生きて働かれる三位一体の神の視点で、宣教と教会を見るならば、まさに、ヨシュアが偉大な神のしもべ、モーセの後継者として立ち、絶対信仰、絶対服従でやり遂げたように、私たちが日本の変革のために、視点の転換をすることがその第一歩なのです。■



- 期 間 / 2009年12月8日(火) ~ 17日(木)
- 目的地 / ①フィリピン ②ミャンマー ③タイ・カンボジア
- 参加者 / 学生・卒業生・スタッフ
- 費 用 / 合計 437 万円

みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。(IIテモ 4:2)



それから、イエスは彼らにこう言われた。

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」 マルコ 16:15



2009年12月 私達はアウトリーチに出発します! 皆様のお祈りとご支援をお願いします!

フィリピン・アウトリーチの為のお願い Philippines

■フィリピンは、CFNJ 聖書学院の第1回目の海外アウトリーチの地です。それから約19年の時を経て、再び9名の学生が出発を目指して準備を始めています。今回、私たちを受け入れてくださるのは、北海道にあるグレイスバイブルチャーチ札幌から派遣され、フィリピン日本人教会を設立開拓されている、CFNJ 聖書学院修了生の菅原真一宣教師ファミリーです。菅原宣教師はマニラから南へ一時間ほどのサンタ・ローサ市において、フィリピンで働く日本人駐在員や技術者、退職者などすべての日本人とご家族、フィリピン人の方々に福音を伝えるために、ご家族で主に仕えています。現在は、牧会の働きと共に、刑務所伝道、貧民街で人々に食事や仕事、薬などを提供し、聖書の学びや自活への道を教える働きも担い、多くの必要を感じながらも、イエス・キリストとフィリピン、また日本とフィリピンの架け橋として働いておられます。私たちは菅原宣教師の協力のもと、教会での礼拝奉仕や福音宣教、日本人コミュニティでの交流など、様々な計画を立てて準備していますが、霊的祝福と共に、貧しい子ども

たちへの学用品やミルク、絆創膏や脱脂綿などの薬用品を携えてフィリピンへ行きたいと願っています。ぜひ、皆様のお祈りとご協力をお願い致します。

ミャンマー・アウトリーチの為のお願い Myanmar

■2年前の海外アウトリーチでミャンマーへ行くことを願っていたにもかかわらず、その時は道が開けられませんでした。しかし、ミャンマーへ行きたいという願いは消えることなく、むしろ、より強く私たちの心に迫り続けてきました。私たちがミャンマーへ行くことは、神様が願われていると同時に、20年以上東南アジアで開拓宣教師として働いておられ、今年2月、学院にゲストスピーカーとして来られたダニエル・マカーティ師の強い願いでもあります。今回、私たちはマカーティ師がミャンマーに創立された聖書学校を基点に、地域伝道、孤児院訪問、プレイヤーウォークなど現地のクリスチャンと共に働き、イエス様の愛と福音をマンダレーやトワンジーで宣べ伝えます。ミャンマー情勢は今なお厳しいですが、だからこそ人々の自由と救いへの飢え渇きは増えています!そして、今私たちの前にミャンマー

への扉が開かれていることは、天の扉がミャンマーに開かれていることを意味していると信じます。主の祝福が日本を通してアジア諸国へ流れていくとは何とエキサイティングなことでしょうか!また、全世界に福音を宣べ伝えるための、皆さまのささげものを主はどれほど喜びとし、報いてくださるでしょうか。お一人お一人にご支援をお願いすると共に、主が幾倍にも増して皆さまに祝福を注いでくださるようお祈り申し上げます。

Thailand & Cambodia

タイ&カンボジアアウトリーチの為のお願い

■1999年に14期生と15期生からなる35名のアウトリーチチームを派遣して以来2度目となるタイ&カンボジア訪問。今回は、CMPコースの講師であるアルマ師とCMPの学生が中心となり、そこに一般コースの学生たちも加わって結成された10名のチームが、そこにいるたくさんの子供達に出会い、愛のミニストリーをし、近くの村々へも出かけて行って伝道する予定です。このチームを受け入れて、奉仕

の機会を与えてくださるのは、タイの北方チェンライとカンボジアのプノンペンに、子供達の為の「クリスチャンハッピーホーム」を運営しておられる創立者のローズさんと、現地リーダー、スタッフの方々です。学生達はハッピーホームに住んでいる子供達と共に過ごしながら、その日課のお手伝いをしたり、生活の中に働く神様の恵みの御業を肌で感じ、学び取る貴重な体験となることでしょう。英語も現地語もできない学生がほとんどです。チームの一致と現地の方々とのコミュニケーションが、聖霊様の助けによってスムーズに成されるようにお祈りください。

残り105万円の必要! (11月19日迄)

アウトリーチ費用、総額437万円。残り105万円となりました。全額満たされ、全員が出発できるようにお祈り、ご支援よろしくお祈りいたします。



World Prayer and Share Letter

プレイズレポート! 聖霊様がイランで主イエスの栄光を称えています!

驚くべき速度で、イランのシーア派のイスラム教徒がキリストを受け入れています。(*)

■かつてのイスラム教徒でテレビを通して福音をイランに伝えているレザ・サファ氏はイランで現在起こっている超自然的な働きを次のように述べています。「事実、イランは 1500 年の歴史を持つイスラム教の中でも最初に主からの訪れを体験しているイスラム教国家です。私たちは、圧倒的な勢いで主イエスを救い主として受けいれている人々を見ています。私たちの福音放送を見て、町や村に住む人々、又今まで聞いたことのない民族や言語を話す人々も含めて、全イラン中からの連絡が入っています。莫大な人数のイラン人たちが主イエスのもとに来ています。これは驚くべき神のみわざであり、イランの大いなる目覚めの時なのです。30 年前のイランの改革の初期の頃以来、今日のイラン人たちは、大虐殺と打ち首のような血を流させる暴力を目の当たりにし続けてきました。それが人々の最近の暴動の理由です。アフマディネジャド氏に対してのみではなく、イラン政府自身の残酷さへの抵抗でもあるのです。」

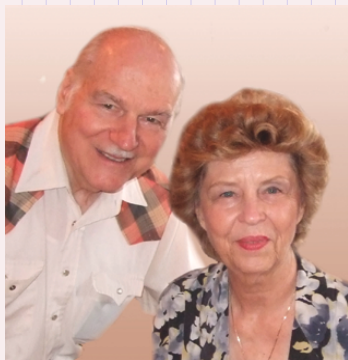
CBN 極東代表クリス・ミッシェル氏はレザ氏に質問しました。「今イランで起こっているこの『超自然的な』報告は何ですか?」。レザ氏の答えは、「私たちのテレビ局に寄せられる 1 週間に 300 回の視聴者からの電話の平均では、90 パーセントの人が、次の 1 か 2 か 3 のうちのいずれかの方法で主イエスに出会いました。No.1 夢、No.2 幻、No.3 出現 ちなみに、『出現』によって主イエスとお会いした人々のほとんどは、主イエスをアッラーやモハメッドなどと間違えたりせずに、すぐに(超自然的に)主イエスだと認識しました。そして、彼らが私たちのテレビ放送の福音を聞いたとき、彼らは主を受け入れる準備ができています。イスラムの(残忍な)法律がイランの人々を消耗させ続けてきました・・・ですから彼らは主イエスを受け入れる準備ができています。」(※クリス・ミッシェル、CBN ニュース・レポート@CBN.com 2009 年 9 月 30 日(水))

かつてのパレスチナ人テロリストがイエス様とユダヤ人を受け入れる!

■パレスチナ人タス・サーダは 17 歳で家出し、イスラエルのヨルダン川西岸地区を支配するファタ派の「武装抵抗組織」に加わった。彼はファタ派の狙撃兵となりイスラエル人兵士を狙撃して殺すようになった。彼はあだ名で「ブッチャー(虐殺者)」と呼ばれるようになり、自らの英雄であるヤセル・アラファトの運転手となった。学校に行くために米国に滞在中、彼は聖書に出会い、友人からイエス・キリストのことを聞いた。神からの啓示と神の愛に圧倒された彼は、「聖書は神のことばです」と告白した。「気が付いたら、私はひざまづいて、両手を挙げて、イエス様を心に迎え入れていました」と彼は言う。彼の心はイエス様に向かい、さらに何人かのユダヤ人と親しくなった。その結果彼はイスラエルを新しい光のもとで見るようになった。今日サーダは、自らが起こした慈善団体「希望の種」を通して、西岸地区とガザで現代的な生活必需品を提供することにほとんどの時間を費やしている。中東のイスラム教徒は記録的な数でキリストに回心しているとサーダは言う。

(編集者注:主イエスは、マタイによる福音書 24 章 14 節の中で、「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」と私たちに教えています。愛する皆さん、今、全世界が神の裁きの下にあることは明白です。しかし、神は依然として、一人も滅びることを望んでおられないのです。今は、善を行うことに、たゆんだり、失望したりする時ではありません。私たちは私たちの時間や賜物、お金を終わりの日の収穫のために投資することを選ぶことができます。主イエスに親密につながっていきましょう、そして聖霊様に、私たちのうちに、また私たちを通して主イエスの栄光を現させていただきましょう。主イエスはマタイ 24:44 で、言われました:「だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。)」

世界のための祈り
とりなし手の皆様へ



チャールズ&ダイアン・グリコ

2学期のゲスト講師と3学期の講義日程のご案内

2010年1月からの
入学受付中!
まだ間に合います!
詳しくは事務局迄

●ゲスト講師の授業の聴講は無料(席上献金あり)ですが、アルプスコースとCMPコースは有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



●11月9日(月)~13日(金) ジャレッド・ブライアント師

17歳の時にユース・ミニストリーへの召しを受ける。その後、米国テキサス州の二つの教会で仕え、CFNJを卒業。現在、アダム・マッケイン師によって創設されたグローバル・ユース・ネットの責任者。妻のセラさんと共に米国内外でユースリーダーを訓練し育てている。学生チームを海外アウトリーチに導き、幾つかのユース・ミニストリーを開拓、援助している。2009年11月来日、1ヶ月間滞在予定。

●講義テーマは「ユースミニストリーについて」
●全体/2・3時間目
・午前10:00~12:00までの2時間



●11月30日(月)~12月4日(金) ロドルフォガルサ師

メキシコ アミスタ・デ・モントレ牧師。エビセントロ聖書学院、学院長。前CFNJ聖書学院院长。
●全体/3時間目
・午前11:05~12:00までの1時間

2009年CFNJ聖書学院 3学期講義表 1-2年コース

(2010年1月12日(火)~3月4日(木)・5日(金)卒業式)
(敬称略)

	月	火	水	木	金
1時間目 AM9:15~10:10	終末論 藤江勇士	信仰と決断 田中 信矢	旧約聖書概論3 田中 博	創造科学 (1/14・21・28・2/4) オラフ・カートハウス	聖書の自己像 松原 望
2時間目 AM10:30~11:25	終末論 藤江勇士	信仰と決断 田中 信矢	旧約聖書概論3 田中 博	創造科学 (1/14・21・28・2/4) オラフ・カートハウス	聖書の自己像 松原 望
3時間目 AM11:35~12:30	聖書の夫婦に学ぶ 鍛冶川紀子	聖書の夫婦に学ぶ 鍛冶川紀子	陶器師の手の 中で 安田 諭	ユースカウンセリング 岡田留美子	今日のイエス・キリストの 奇跡 ジェリー・ジャンセン

アルプスコース

	月	火	水	木	金
1時間目 AM9:15~10:10	リーダーシップ の21の原則 鍛冶川利文	教会カウンセリング3 小栗 昭夫	教会の一致と 宣教の拡大 西森 昌二	上級説教 松原 望	教会伝道 の実際 石田 吉男
2時間目 AM10:30~11:25	リーダーシップ の21の原則 鍛冶川利文	教会カウンセリング3 小栗 昭夫	教会の一致と 宣教の拡大 西森 昌二	上級説教 松原 望	教会伝道 の実際 石田 吉男
3時間目 AM11:35~12:30	CMPコースと合同の授業				

CMPコース

	月	火	水	木	金
3時間目 AM11:35~12:30	聖書の児童伝道 アルマ・ベルメホ			ユースカウンセリング 岡田留美子	聖書の児童伝道 アルマ・ベルメホ

選択科目と実習

午後 PM13:30~15:30	ピアノクラス 稲本 妃美子	タンバリンクラス 鍛冶川紀子 ドラムクラス 田中 満矢	実習 (必修)	ドラマ演劇コース 鍛冶川紀子
---------------------	------------------	--------------------------------------	------------	-------------------

新入生の紹介

2009年度2学期から「一般コース」

宮崎県出身 高木純一

■みなさんの祈りのおかげで今ここにいる事を感謝します。本当にこの素晴らしい学院で神様の聖なるでっかい器に整えられる事を信じています! よろしくお祈りします。



お知らせ!

クリスマス伝道リサイタル 開催!

●とき/12月2日(水) 14:00~16:00

●場所/CFNJホール

●演目/フラダンス
・クリスマスコーラス・ゲーム
・ドラマ『本当のクリスマス』他

入場/無料

前回のドラマリサイタル「永遠の住まい」より

出版と発売のお知らせ!



お母さんになるための心構え

「奇跡の9か月」

マリー・ヘインズ著 ● 定価 / 1,500 円 (税別)



●学院の創立者ダイアン・グリコ師が推薦し、サポートしたマリー・ヘインズ著『奇跡の9ヶ月』が、FFJ(ファミリーフォーラムジャパン)から出版・発売されました。お母さんのお腹に胎児が宿ったその瞬間から、神の奇跡の御手が動いてその骨々を組み立て人に命が与えられる。この厳粛な事実を正しく理解し、どのようにその命を育み見つめつつ、喜びのときを迎えるのか? すべてのお父さん、お母さん(クリスチャンであってもなくても)は勿論、将来父母となるであろうすべての人必見の書! ぜひ、お申し込みください。プレゼントにも最適です!

●お申し込みは / 学院事務局まで

「あなたの御手が私を造り、私を形造りました。どうか私に、悟りを与えてください。私があなただけの仰せを学ぶようにしてください。」 詩編 119:73

新入生募集中!

授業を通し、御言葉によりしっかりとした信仰の土台を築きます。バランスよく、視野を広げ、イエスキリストにある自分の召しがかかるものとされるように聖書を広く学んでいきます。それは、「知識」が「理解」となり、更に「確信」となって豊かな実を結ぶものとなっていくためです。学院での学びは必ずあなたの人生に確かな影響を与えることができるでしょう!



- | | | |
|---------|-------------------|----------|
| 一般コース | 選択科目 | 超教派 |
| ALPSコース | 海外留学制度 | 独身・家族寮完備 |
| CMPコース | 毎朝のワーシップ | 学生実習 |
| 賛美礼拝コース | 世界各地からのゲストスピーカー登壇 | |

無料体験入学
平常授業の3日間 実施中!
 (2学期: 9/7~12/4 . 3学期: 1/12~3/5)
 3泊4日の宿泊料、授業料、食事が無料になります。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北 6 条 5 丁目 157
 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
 ●e-mail: office@cfnj.com 学院長/ 鍛冶川利文

